平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月31日

上場会社名　日華化学株式会社　　上場取引所　名
コード番号　4463　URL　http://nicca.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 江守　康昌
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部副本部長　(氏名) 宮本　和浩　TEL 0776-24-0213

四半期報告書提出予定日　平成24年2月10日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	23,529	0.4	1,146	16.7	1,104	27.9	556	17.6
23年3月期第3四半期	23,436	7.5	983	△14.4	863	△20.4	472	△27.6

(注)包括利益　24年3月期第3四半期　162百万円　(△31.4%)　23年3月期第3四半期　237百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	31.60	―
23年3月期第3四半期	26.87	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	33,124	11,719	30.0	565.15
23年3月期	32,795	11,733	30.3	564.89

(参考) 自己資本　24年3月期第3四半期　9,947百万円　23年3月期　9,942百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	5.00	―	5.00	10.00
24年3月期	―	5.00	―		
24年3月期(予想)				5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,600	2.6	1,120	11.2	1,090	30.2	540	102.3	30.68

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 有
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 有

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	17,710,000 株	23年3月期	17,710,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	109,100 株	23年3月期	108,441 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	17,601,215 株	23年3月期3Q	17,603,849 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
（４）追加情報 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）セグメント情報等 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年12月31日）におけるわが国経済は、東日本大震災からの復旧・復興が進み、全体として回復の兆しがみられたものの、欧州財政問題の深刻化、タイの大洪水等による海外経済の減速や円高の影響により、景気の先行きは不透明な状況が続いています。

こうした経営環境のもと、当社グループは、化学品事業、化粧品事業ともに顧客ニーズを捉えた積極的な営業活動を展開し、売上高は235億２千９百万円（前年同期比0.4%増）、営業利益は11億４千６百万円（同16.7%増）、経常利益は11億４百万円（同27.9%増）、四半期純利益は５億５千６百万円（同17.6%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①化学品事業

売上高は185億円（同1.5%減）、セグメント利益は９億４千５百万円（同18.7%減）となりました。

海外では、韓国において繊維加工用機能薬剤が好調に推移しましたが、国内では、自動車関連産業を中心に回復傾向が見られたものの、電子、製紙産業等の低迷や為替変動等の影響を受け、売上高は減少しました。

②化粧品事業

売上高は50億２千９百万円（同13.7%増）、セグメント利益は12億４千７百万円（同38.2%増）となりました。

美容業界は消費マインドが回復傾向に向かう中、デミコスメティクスにおいて、スキャルプ&ヘアケアシリーズ「ビオーブ」やスタイリングシリーズ「ヒトヨニ」等新商品の拡販、また、「イーラル」ブランドの積極的な事業展開等により、売上高は好調に推移しました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ、３億２千９百万円増加し、331億２千４百万円となりました。受取手形及び売掛金の増加、たな卸資産の増加及び現金及び預金の減少等により、総資産は増加しました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ、３億４千３百万円増加し、214億５百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加、長期借入金の増加及び短期借入金の減少であります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ、１千４百万円減少し、117億１千９百万円となりました。利益剰余金の増加、為替換算調整勘定の減少及びその他有価証券評価差額金の減少が主な要因であります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の30.3%から30.0%となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成23年10月31日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（重要な外貨建の資産又は負債の本邦通貨への換算基準の変更）

在外子会社等の収益及び費用は、従来、在外子会社等の決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、第１四半期連結会計期間より期中平均為替相場により円貨に換算しております。

この変更は、在外子会社等の収益及び費用の重要性が増し、為替相場の変動が連結財務諸表に与える影響が高まってきたことに伴い、為替相場変動による期間損益への影響を平準化することで、より適切に連結財務諸表に反映させるために行ったものであります。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第３四半期連結累計期間の税金等調整前四半期純利益は25,220千円増加しております。また、前連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、利益剰余金の前期首残高は86,646千円増加し、為替換算調整勘定の前期首残高は、同額減少しております。

（４）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号　平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月４日）を適用しております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,965,994	2,361,915
受取手形及び売掛金	7,000,248	7,845,391
商品及び製品	2,327,550	2,607,354
仕掛品	325,718	358,853
原材料及び貯蔵品	2,425,126	2,388,069
その他	976,651	796,122
貸倒引当金	△47,211	△44,089
流動資産合計	15,974,078	16,313,617
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,373,592	5,136,109
機械装置及び運搬具（純額）	2,240,480	2,060,030
土地	6,165,795	6,010,656
その他（純額）	494,193	1,045,538
有形固定資産合計	14,274,062	14,252,334
無形固定資産		
のれん	4,581	5,742
その他	565,387	512,940
無形固定資産合計	569,969	518,683
投資その他の資産	1,977,403	2,040,248
固定資産合計	16,821,435	16,811,265
資産合計	32,795,513	33,124,883

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年３月31日)	当第３四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,462,836	3,697,051
短期借入金	7,550,963	6,591,844
未払法人税等	75,601	197,863
賞与引当金	430,000	194,000
その他	1,738,552	1,381,359
流動負債合計	13,257,954	12,062,118
固定負債		
長期借入金	4,705,695	6,168,101
退職給付引当金	2,290,557	2,262,579
その他	807,447	912,803
固定負債合計	7,803,700	9,343,484
負債合計	21,061,655	21,405,603
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,898,545	2,898,545
資本剰余金	3,040,168	3,040,169
利益剰余金	6,248,904	6,628,984
自己株式	△44,894	△45,197
株主資本合計	12,142,722	12,522,501
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	69,304	34,082
為替換算調整勘定	△2,269,125	△2,609,371
その他の包括利益累計額合計	△2,199,821	△2,575,288
少数株主持分	1,790,956	1,772,066
純資産合計	11,733,858	11,719,279
負債純資産合計	32,795,513	33,124,883

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
売上高	23,436,084	23,529,911
売上原価	15,699,372	15,721,037
売上総利益	7,736,712	7,808,873
販売費及び一般管理費	6,753,535	6,661,961
営業利益	983,176	1,146,912
営業外収益		
受取利息	10,182	7,195
受取配当金	19,828	18,130
負ののれん償却額	4,042	2,100
持分法による投資利益	90,388	99,350
その他	151,400	155,352
営業外収益合計	275,842	282,128
営業外費用		
支払利息	120,695	124,489
為替差損	175,443	74,132
その他	99,026	125,786
営業外費用合計	395,166	324,408
経常利益	863,853	1,104,632
特別利益		
固定資産売却益	61,099	2,273
特別利益合計	61,099	2,273
特別損失		
固定資産除却損	55,945	9,102
固定資産売却損	41,614	383
投資有価証券評価損	11,436	－
出資金評価損	4,921	－
ゴルフ会員権評価損	－	1,310
減損損失	36,588	20,260
災害による損失	－	83,990
特別損失合計	150,506	115,046
税金等調整前四半期純利益	774,446	991,859
法人税等	158,710	318,771
少数株主損益調整前四半期純利益	615,735	673,087
少数株主利益	142,759	116,937
四半期純利益	472,975	556,150

(四半期連結包括利益計算書)
(第３四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第３四半期連結累計期間 (自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日)	当第３四半期連結累計期間 (自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	615,735	673,087
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,279	△35,221
為替換算調整勘定	△374,337	△475,190
その他の包括利益合計	△378,617	△510,412
四半期包括利益	237,118	162,675
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	189,988	180,683
少数株主に係る四半期包括利益	47,130	△18,008

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

前第３四半期当連結累計期間（自　平成22年４月１日　至　平成22年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他（注）	合計
	化学品	化粧品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,779,257	4,424,221	23,203,479	232,605	23,436,084
セグメント間の内部売上高又は振替高	8,642	－	8,642	14,938	23,581
計	18,787,900	4,424,221	23,212,122	247,544	23,459,666
セグメント利益又は損失（△）	1,163,516	902,708	2,066,224	△25,286	2,040,938

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医薬品事業等であります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	2,066,224
「その他」の区分の利益	△25,286
セグメント間取引消去	15,811
のれんの償却額	1,513
全社費用（注）	△1,075,086
四半期連結損益計算書の営業利益	983,176

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「化学品」セグメントにおいて、操業を停止した工場等に係る建物及び構築物等について遊休資産にグルーピングを行い、当該資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第３四半期連結累計期間においては、36,588千円であります。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

当第３四半期当連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合計
	化学品	化粧品	計	
売上高				
外部顧客への売上高	18,500,023	5,029,888	23,529,911	23,529,911
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,338	17,285	22,623	22,623
計	18,505,361	5,047,173	23,552,535	23,552,535
セグメント利益	945,383	1,247,351	2,192,735	2,192,735

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	2,192,735
セグメント間取引消去	12,190
のれんの償却額	3,455
全社費用（注）	△1,061,470
四半期連結損益計算書の営業利益	1,146,912

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントの変更等に関する事項

（報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額の測定方法の変更）

在外子会社等の収益及び費用は、従来、在外子会社等の決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、第１四半期連結会計期間より期中平均為替相場により円貨に換算しております。この変更は、在外子会社等の収益及び費用の重要性が増し、為替相場の変動が経営管理情報に与える影響が高まってきたことに伴い、為替相場変動による期間損益への影響を平準化することで、より適切に経営管理情報に反映させるために行ったものであります。この変更に伴い、報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額の算定方法を変更し、前第３四半期連結累計期間の金額を修正再表示しております。

（セグメントの区分方法の変更）

従来、「その他」に区分しておりました医薬品事業等につきましては、平成23年３月31日をもって事業撤退しております。

４．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

連結損益計算書上の減損損失20,260千円は、全社資産である遊休資産に係るものであり、報告セグメントに配分された固定資産の減損損失はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。